

◎白石市消防団員に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の年額報酬は、近隣市町との均衡を図るため、出場手当は、団員の活動実績に即した支給とするため、それぞれ増額するものです。

◎白石市交通指導隊員に関する条例の一部を改正する条例

現在、交通指導隊員の現員数は29人(定員35人)で、そのうち14人が55歳以上です。条例では、65歳定年退職と定めており、今後、現員数の維持が非常に厳しくなることから、定年規定を削除し、出場手当を増額することで、交通指導隊員の確保を図ることにするものです。

予算

◎平成27年度白石市一般会計予算

予算総額は、180億7千89万9千円で、前年度と比較すると19・4%の増となり、過去2番目の予算規模です。

おもな内容は次のとおりです。

- すくすくへびー券支給事業 101万1千円
- 大坂夏の陣400年記念事業 655万3千円
- 白石スキー場整備事業 3億464万6千円
- 有害鳥獣対策事業 5千270万7千円
- 少人数学級編成に伴う教職員人件費等 3千364万2千円
- 学校給食センター整備事業 10億812万9千円
- 下水道事業会計補助金 (震災に係る災害復旧分含む) 19億2千989万6千円

※歳入で、震災復興特別交付税が交付見込みです。

〔質疑〕有害鳥獣解体処理施設の設置場所や管理運営等についてを伺う。

〔答弁〕設置場所は、弥治郎地区にある仙南広域所有のこみ焼却場跡地で、床面積が約72平方メートル、冷蔵・冷凍庫、荷おろし・洗い場などを備えた施設を考えている。

施設の管理は、白石市農作物有害鳥獣対策協議会に委託したいと考えている。

〔質疑〕焼却設備の検討はされたのか。

〔答弁〕焼却設備も検討したが、イノシシ一頭に対する経費が高すぎる試算結果が出た。そのため、施設で10キログラムぐらいに解体し、角田衛生センターでの焼却をしたいと考えている。

〔質疑〕白石市都市計画道路網見直し業務について、その背景や理由、方針等を伺う。

〔答弁〕本市の都市計画道路は、市街地の拡大にあわせ、路線の追加や変更を行いながら整備を行ってきた。しかし、現在の計画決定から20年以上が経過しており、現在の整備率は約59%であり、具体的な着手予定がない路線も含め4割以上が未着手である。

見直しについては、国が進めているコンパクトなまちづくりを意識し、社会情勢の変化、まちづくりの観点、交通需要、代替え道路の有無なども含め検討し、平成28年度末までの2年間で、見直し案を作成したいと考えている。

◎平成26年度白石市一般会計補正予算(第8号)(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億6千611万9千円を追加し、予算総額を164億5千271万2千円とするものです。平成27年度へ繰り越しして事業を行います。

地方創生に関連する交付金事業では、3種類の割増商品券の発行事業、多言語案内によるホームページを活用した観光振興事業、伝統産品の製造行程等の映像記録作成事業、白石和紙の後継者育成事業、定住促進事業などを行います。また、震災復興特別交付税を財源に、非破壊式放射能測定器の購入などを行います。おもな内容は次のとおりです。

- 地方創生地域消費喚起事業 7千447万6千円
- 地方創生先行型事業 7千57万7千円
- 林産物等放射能対策事業 2千155万8千円

※予算差額は、予備費で調整。

第414回 市議会定例会

意見が分かれた議案の賛否一覧

議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		澁谷 政義	伊藤 勝美	安藤 佳生	菅野 恭子	水落 孝子	沼倉 啓介	平間 知一	佐久間儀郎	保科惣一郎	四竈 英夫	小川 正人	佐藤 英雄	山田 裕一	制野 敬一	大野 栄光	大町 栄信	山谷 清	志村新一郎
第30号議案 白石市介護保険条例の一部を改正する条例	原案決	×	×	○	○	×	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第41号議案 平成27年度白石市介護保険特別会計予算	原案決	×	×	○	○	×	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案基本条例の規定に基づき、意見が分かれた議案の賛否は、すべて公開いたします。

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない